

創立63周年記念式典 10/5

今年も10月10日、63回目の創立記念を迎えました。院内施設の再構築や、それに絡む工事など話題も多い最近ですが、10月5日(土)にはOB約20名をお迎えして創立記念式典を行いました。式典では、この間の新入職員を紹介し、そして永年勤続者の表彰も行いました。当院の新旧職員が集い、63年の歴史を振り返る機会を持ちました。

今年も穏やかな1日、創立記念を迎えることができました。

さて、創立50周年の折に、今後新たな建物を建築し、その後、院内全体の再構築を行うこと、そして地域の要請に即応できる体制を構築する(という)、阪南病院の将来構想を立案いたしました。H棟は、各地の素晴らしい医療施設を見学し、また、地域の皆様のご理解もあり完成した建物です。現在までより充実した医療提供を行うため最新の設備を整えつつ、順調に稼働しております。これもひとえに多くの皆様のご支援のおかげと心より感謝し、さらに充実した医療提供を目指していきたいと考えております。

今後ともご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。
(後藤田 公一)



- ### 基本方針
- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
 - 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
 - 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
 - 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
 - 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

院内 花 金の成る木

かね な き
べんけいそう
弁慶草科。



だ
よ
り



- 開花時期は、12/15～4/20頃。
- 南アフリカ原産。うすピンクの花が咲く。
- 幹と枝に横縞の線が入っているのが特徴的。若い木の時に、横縞の線部分に穴のある硬貨を差し込むと、気が成長するにつれ硬貨がはずれなくなります。これを繰り返すと、硬貨のいっぱいついた枝になり、「金になっている」ような姿に見えるため「金の成る木」と名前がつきました。ですが、晩秋から冬にかけてかわいらしい花を咲かせます。最近特に人気で花屋さんの店先によく並んでいますよ。

つれ硬貨がはずれなくなります。これを繰り返すと、硬貨のいっぱいついた枝になり、「金になっている」ような姿に見えるため「金の成る木」と名前がつきました。ですが、晩秋から冬にかけてかわいらしい花を咲かせます。最近特に人気で花屋さんの店先によく並んでいますよ。



晴天時に雪が風に舞うようにちらちらと降ること。あるいは山などに降り積もった雪が風によって飛ばされ、小雪がちらつく現象のこと。本格的な冬の前触れとされています。

冬型の気圧配置が強まり、大陸から日本列島に寒気が押し寄せてくると日本海側で雪が降りますが、その雪雲の一部が日本列島の中央にある山脈を越え、太平洋側に流れ込んできたときに風花が見られるそうです。

日本の美しい風景が目に見えそうです。

■外来診察表

外来診察時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)
令和元年7月1日から各医師の診察を各曜日・各診察室で行います。

	月	火	水	木	金	土	
診 察	1 診	黒田	土井		横田	黒田 横田	
	2 診	花房	横井	松島	戎	横井	
	3 診	松島	亀田	植田	白銀	植田	
	4 診	和田	三浦	松下	仲里	国本 小笹	
	5 診	佐野	山田	福島	加納	車井 松村	
	6 診	柴田	長谷川	岩井	吉川	小林 萩野	
	7 診	山本		小深田	久保	京田 小深田	
	8 診	熊取谷	橋本	西村	大村		熊取谷
	9 診	上坂	柏木			土井 安藤	
	診(心1)	田中		中井			

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/
小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
- メンタルケア(精神科急性期治療)病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあい・サテライト「浜寺石津」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク
堺市中区深井清水町3544-3
アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488



冬の感染症対策

これから寒さの増す時期、感染症対策は冬に限ってのことではありませんが、日ごろからの予防で、元気に冬を乗り切りましょう!

冬に多い感染症

インフルエンザ

38度以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛や関節痛といった全身症状が強く現れます。高齢者は重症化しやすく、肺炎を併発するなど生命の危険に陥ることがあるので注意が必要です。できるだけ早く受診することが大事です。解熱後もしっかりと休養してから職場に戻りましょう。

ノロウイルス

おう吐や下痢を引き起こす感染性胃腸炎です。少量を摂取しただけで深刻な食中毒を起こす感染力が非常に強いウイルスです。感染者が調理したもの、ウイルスをもった一枚貝などを食べて感染します。また、患者のおう吐物が乾燥して舞い上がったほこりを吸い込むことで飛沫感染を起こすことがあります。感染すると1〜2日の潜伏期間後、おう吐、下痢、発熱や頭痛など、かぜに似た症状が現れます。症状は1〜3日で治まりますが、1週間から1ヶ月は便の中にウイルスが排出されるので注意しましょう。



手洗い・うがい・マスクで予防を!!

手洗いの仕方

- ①手のひらをよくこすり石けんを泡立てる。
- ②指先、爪の間、手の甲、手首を洗い、流水でよくすすぎます。
- ③手拭タオルは、使い捨てのペーパータオルがお勧めです。

うがい

- ①ブクブクうがいをし、口の中の汚れをとる。
- ②一度水をききだす。
- ③再度水をふくみ、上を向いて、喉の奥まで届くようにガラガラうがいをする。

守ろう!! せきエチケット

- ①咳やくしゃみが出るときはマスクを使用する。
- ②マスクがないときは、ハンカチやティッシュなどをあてて、せきやくしゃみが飛び散らないようにする。
- ③使用後のティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、その後すぐに手洗いをしましょう。



病院整備工事

駐輪場の移転

病院整備の一つとして9月、老朽化した車庫、自転車置き場等プレハブ建物を撤去いたしました。そのため、来院者の駐輪場はグループホームあんずの郷横のみとなりました。現在あんずの郷横駐輪場周辺は拡張工事を行い、来院者用、自転車、原付バイク置き場としてご利用いただけます。

ご来院の方で大型バイクを利用される方は、病院奥C棟D棟間のバイク置き場をご利用いただけます。



停電工事

院内のキュービクル(受電設備)移設に伴う工事に際し、11月に4日間の停電作業をさせていただきました。患者様やご面会にお越しのご家族様には、ご迷惑をおかけいたしました。

作業は、11月3日(日)4日(月・祝)23日(土・祝)24日(日)13時~17時に行われ、完全停電は15分ほどで、通常電源から自家発電や仮設発電機に切り替えて、最低限度の電気はつくようにし、対応いたしました。細かな問題もありましたが、4日間とも予定より早く復電ができております。工事及び周辺作業につき、ご理解、ご協力誠にありがとうございました。



当院は敷地内完全禁煙です

地域イベントに参加!!

11/9 SAT 堺市 西区ふれあい祭り

11月9日(土)西区役所を会場とした西区ふれあいまつりが開催されました。当院からも医師をはじめとした多職種チームで、「認知症関連の相談業務及び認知症疾患センターの広報」を主な役割として参加させていただきました。当日は天候にも恵まれ、エンディングノートのミニ講座にも多数の人が集まりました。パンフレットを持ち帰る方が多く、お声掛けすることご自身やご家族の不安を話される方もいて色々な反応がありました。また、今年度は、「認知症について」の講演を実施、多くの方が足をとめ、聞いていただきました。

相談内容としては、自身の認知症を心配される方や、親、配偶者(妻、夫)の相談も寄せられました。高齢になると、生活や自身の身体のことなど不安要素は増えます。定期的なイベントなどで、関わる機会を持つことが重要だと改めて感じました。



11/10 SUN 堺市 南区ふれあい祭り

11月10日(日)南区役所、西原公園グラウンドを会場として南区ふれあいまつりが開催されました。当院は、医療相談及び、救護班として参加しました。すこし気温は下がりましたが、好天の二日でした。大規模なイベントで、当院ブースは来場ゲートのすぐそばであったため、自当の場所に行かれる前に血圧測定などにお寄りいただきました。血圧測定の合間にお話しすると、血圧高値が気になる、物忘れがあり心配、配偶者の介護が大変、塗布している薬の相談など、世間話の延長から深刻な内容まで様々お伺いすることができました。救護は午後からが多く、子どもさんの転倒による怪我など4件ありました。ふれあいまつりの盛況もあり、終日にぎやかでした。

南区ふれあいまつりは、高齢の方から子どもさんまで多くの方が訪れる地域では大きなイベントです。健康相談や救護の役割も大きいと感じました。



11/16 SAT 11/17 SUN 泉ヶ丘のビックアイを会場とした「共に生きる障がい者展」第17回

泉ヶ丘のビックアイを会場とした「共に生きる障がい者展」は今年、晴天の11月16日(土)17日(日)の両日にわたり開催されました。館内ではホールや研修室を利用し、様々な催しが行われました。館外の広場でも、フリーマーケットや作業所などのパンや小物販売、隣の府立大型児童館ビックパンの移動ミュージアムなど盛りだくさん。子ども、大人、障がいをお持ちの方、誰もが楽しめる2日間でした。

当院はバリアフリーラザの二画をお借りし、「相談コーナー」と「癒しの小物づくり体験の運営」を行いました。また救護班としての役割もあり、初日は救護依頼も受けました。小物作りは香り袋作成、クリアファイルのデコレーション、革細工など、簡単に楽しんで制作できるものを来られた方に作っていただきました。デイケアからも革細工のキーホルダーが、来訪者へのお土産に出され喜ばれていました。毎年お見えになる方もいて、会話が弾む場面もありました。多くの方にアプローチし、阪南病院のPRもしております。来年はブースデザインやアメニティーも考慮しさらに多くの方にお越しいただければと思います。

